

安全・安心は家庭から

夕方は 早めのライト 気づき合い
 萩原さら(大仁小)
 やめよう並走 つけようライト ルール守って
 安全走行 小川一真(長岡南小)
 渡る時 ゆずってくれたら ありがとう
 高井基暉(葦山小)

市役所地域づくり推進課 ☎ 055-948-1412

オレオレ詐欺

日ごろから家族との
 コミュニケーションを大切に!!

市内でも今年に入ってから、詐欺被害が発生しています。不審な電話を受けたときは、現金を渡すことやATMを操作することは絶対に行わないでください。不審な電話や、不安に思うことがあれば、すぐに警察へ通報・相談をしてください。

大仁警察署 ☎ 0558-76-0110

被害に注意!!



図書館だより

今月のおすすめ ~お人形~

ひな人形、ぬいぐるみ、マネキンなど、昔から人の傍らにあったお人形。今回は、人形に関する本を紹介します。
 △=小説、▲=小説以外



△『たまさか人形堂それから』
 津原泰水(著) / 文藝春秋

零細人形店を継いだ元OLの滯が、謎の修復職人や人形マニアの青年とともに、人形にまつわる謎を解きほぐす連作集第二弾。【葦山】



▲『人形大使 もうひとつの日米現代史』
 高岡美知子(著) / 日経BP社

昭和初期一日米関係の悪化を憂い、渋沢栄一と米宣教師が仕掛けた民間外交。それは、人形による壮大な草の根運動だった。【中央】

■引越しの前に

引越しの時はいろいろな手続きがあり、大変ですね。しかし、荷物の片付けを始める前に、図書館の本やDVDの返し忘れがないか、確認してみてください。市外に転出する人は、図書館に利用者カードを返しましょう。



図書館カレンダー
 モバイル版QRコード



△『りかさん』 梨木香歩(著) / 偕成社【中央・長岡】

…人形の声に耳を澄ますと、持ち主の哀しさ、激しさが聞こえてくる。

△『人形はこたつで推理する』 我孫子武丸(著) / 角川書店【中央】

…名探偵の正体は、腹話術の人形? 連作短編集。

△『ハルさん』 藤野恵美(著) / 東京創元社【中央】

▲『図説 日本の人形史』 山田徳兵衛(編) / 東京堂出版【中央】

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/> 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

3月の休館日	中央図書館	2日(月)、9日(月)、16日(月)、21日(土)、23日(月)、27日(金)、30日(月)	葦山図書館	4日(水)、11日(水)、18日(水)、21日(土)、25日(水)、27日(金)	長岡図書館	2日(月)、9日(月)、16日(月)、21日(土)、23日(月)、27日(金)、30日(月)
--------	-------	--	-------	--	-------	--

文化財通信

その117

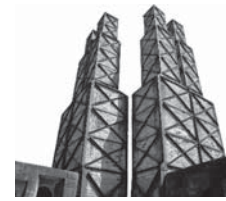
葦山反射炉はなぜ残ったか

(その3)

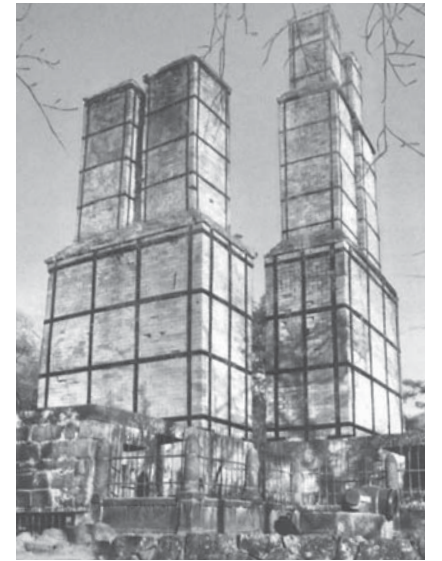
※広報いずのくに1月号(その2)よりつづく

市役所文化振興課

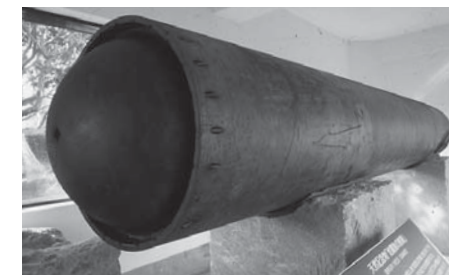
☎ 055-948-1428



陸軍省によって実施された明治41年(1908)の最初の保存修理後、葦山反射炉は2度の大きな地震に襲われています。大正12年(1923)の関東大震災と、昭和5年(1930)の北伊豆地震がそれです。関東大震災では、煉瓦と炉体の石積みみならず、煉瓦と炉の軽微な損傷にとどまりました。しかし、北伊豆地震では、より深刻なダメージを受けています。昭和5年11月26日早朝、丹那断層を震源とするマグニチュード7.3の直下型地震が発生しました。いわゆる「北伊豆地震」です。この地震により、葦山村をはじめとする北伊豆地方は、壊滅的な被害に見舞われました。葦山村(当時)の総戸数の90%



北伊豆地震で北炉煙突最上段部が失われた葦山反射炉(個人蔵)



天然記念物 地震動の擦痕(市内南江間)

か、伊豆の国市唯一の国指定天然記念物である「地震動の擦痕」に、はつきりと刻まれています。もし、明治41年の陸軍省による保存修理が行われていなければ、煙突最上段部どころか、反射炉全体の崩壊もまぬがれなかったことでしょう。

この地震の揺れがいかにも激しいものであった。葦山の建物も倒壊する中、葦山反射炉でも、北炉の煙突最上段部が崩落するという被害を受けました。

先人たちが展開した反射炉保存運動は、まさに大きな意味を持つことになったのです。北伊豆地震後、葦山反射炉が本格的な保存修理を受けたのは、昭和32年(1957)のことでした。葦山村によって実施されたこの保存修理で、崩落していた北炉煙突最上段部が、軽量ブロックにより復元されました。また、地震による被害を想定して、この時初めて、地下のコンクリート基礎と煙突外部の鉄骨トラスによる耐震補強が施されました。今日の私たちが見慣れている葦山反射炉の姿は、昭和32年の保存修理によって形づくられたと言えます。



昭和32年の保存修理後の葦山反射炉

(その4につづく)